

【ダーウィンLNGプロジェクトの概要】

ダーウィンLNGプロジェクトは、コノコフィリップス社(米)が中心となり、「バユ・ウンダン・ガス田開発事業」、「パイプライン事業」、「液化プラント事業」の3事業を行うもの。各事業への参画比率は下記比率に準拠。

東京電力および東京ガスのバユ・ウンダン・ガス田開発事業の参画形態は、10.08%の開発権益を持つ「東京・ティモール・シー・リソーシズ社」に対する2対1の割合での共同所有形式。

グループ(親会社)	比率
コノコフィリップス(米)	56.72%
エニ(伊)	12.04%
サントス(豪)	10.64%
国際石油開発(日)	10.53%
東京電力(日)	6.72%
東京ガス(日)	3.36%

【コノコフィリップス社の概要】

- ・ 2002年8月に独立系石油・ガス会社であったコノコ社とフィリップス社が合併してコノコフィリップス社誕生。(本社：米国テキサス州ヒューストン)
- ・ 米系石油・ガス会社の中では第3位(従業員約57千名、総資産約800億米ドル、2002年末現在)。
- ・ 東京電力・東京ガスが購入しているアラスカLNGプロジェクトの70%権益保有者・売主。
- ・ 「東京・ティモール・シー・リソーシズ社」の前身であるフィリップス・ペトロリアム・ティモール・シー社(Phillips Petroleum Timor Sea Inc.)は、バユ・ウンダン・ガス田に10.08%の開発権益を有するコノコフィリップスグループ100%所有の会社だった。

【バユ・ウンダン・ガス油田概要】

位置： 豪州・東ティモール共同石油開発海域内
豪州ダーウィン市沖合 500km、東ティモール南岸沖合 250km
埋蔵量： 天然ガス 約 3.4 兆立方フィート
石油分（LPG・コンデンセート） 約 4 億バレル

